

## 令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業・事業別評価シート

## 目次

①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業	1
②	災害に強い森林づくり推進事業	
	ア. 災害緩衝林整備事業	2
	イ. 土砂・流木緊急除去事業	3
③	森林情報基盤整備事業	4
④	森を育む人づくりサポート体制整備事業	
	ア. 森林教育体制整備事業	5
	イ. みえ森づくりサポートセンター運営事業	6
	ウ. 森林教育施設整備事業	7
⑤	生物多様性推進事業	8
⑥	森林とふれあう自然公園環境整備事業	9
⑦	みえ森と緑の県民税市町交付金事業	
	ア. みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	
	a. 流域防災機能強化対策事業	10
	b. 森林再生力強化対策事業	11
	イ. みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業	
	a. 災害からライフラインを守る事前伐採事業	12
	ウ. みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業	13
⑧	みえ森と緑の県民税制度運営事業	14

## 評価の種類とその内容及び点数

## 評価委員の評価と内容

内容	評価
取組が特に優れている	4
取組が妥当である	3
取組は妥当であるが さらに工夫が必要である	2
現状の取組に 改善が必要である	1

## 評価委員会の評価と内容

平均値による 評価基準		内容
$3.5 \leq X \leq 4.0$	A	取組が特に優れている
$2.9 \leq X < 3.5$	B	取組が妥当である
$1.9 \leq X < 2.9$	C	取組は妥当であるが さらに工夫が必要である
$1.0 \leq X < 1.9$	D	現状の取組に改善が必要である

## 判定の集計方法

- 委員の評価（点数）を合計し、平均値をとります。
- 平均値（右表）により、判定（A～D）を決定します。

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート①

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	令和3年8月1日	
	中間	令和3年12月31日	
	実績	令和 年 月 日	

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成25年度
事業名	みえ森と緑の県民税基金積立金事業					
基本方針区分	-					
基本方針区分	-					
対策区分	-					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	1,090,828,000	1,097,538,000	1,112,659,000		
	決算額(円)	1,114,861,903	1,122,266,015			
事業の目的	<p>荒廃森林の増加と自然災害の頻発が懸念される状況を踏まえ、県民の生命・財産を守るため、土砂や流木の発生を抑制する「災害に強い森林」を重点的かつ緊急に実現します。</p> <p>また、森林の恩恵はすべての県民が受けていることから、災害に強い森林づくりを将来にわたって引き継いでいくため、森林づくりを県民全体で支える社会づくりを推進します。</p>					
事業の目標	-					
事業概要	<p>森林の恩恵は全ての県民が受けており、費用については県民の皆様幅広く負担していただくという趣旨から「県民税均等割の超過課税方式」により、現行の県民税均等割りに上乗せして課税しています。</p> <p>みえ森と緑の県民税の税収に相当する額は「みえ森と緑の県民税基金」に積立てることで、既存財源と区分し、用途を明確化しています。</p>					

## 【中間進捗】

中間進捗状況	
<p>積み立てた基金を財源として各種事業を実施し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進しています。</p>	

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート②-ア

担当部課名	農林水産部治山林道課				
作成年月日	当初	令和	3	年	8月1日
	中間	令和	3	年	12月31日
	実績	令和		年	月 日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	災害に強い森林づくり推進事業					
細事業名	災害緩衝林整備事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	348,383,000	319,993,000	319,943,000		
	決算額(円)	347,059,492	322,759,621			
事業の目的	集中豪雨などに伴い発生する山崩れ等の影響は、山間部にとどまらず下流域の人家や公共施設等へも被害が及んでいることから、山崩れ等に伴って流出する土砂や流木の発生を抑制し、これらに対して高い緩衝機能を発揮する森林づくりを推進することで、土石流などの災害発生リスクを軽減します。					
事業の目標	実施箇所数： 30箇所					
事業概要	<p>流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林において、流木や土砂の流出に対して緩衝効果を発揮する一定幅の森林について調整伐等を実施し、緩衝機能を高める森林整備を行います。</p> <p>1 事業実施</p> <p>(1) 溪流内の倒木や枯損木、根の浮き上がった木、劣勢木等、流木の発生源となる危険木の伐採</p> <p>(2) 溪流沿いの立木における調整伐</p> <p>(3) 伐採木の山腹斜面での土砂止め等への利用、又は林外への搬出</p> <p>2 事業の効果検証にかかる調査・研究（林業研究所及び大学との共同研究）</p>					

## 【中間進捗】

中間進捗状況
<p>1 実施箇所について、令和3年12月末現在で30箇所のうち7箇所が完成しました。残り23箇所も完成に向けて整備を進めています。</p> <p>2 事業の効果検証について、事業実施による山腹斜面安定効果、立木の成長促進効果、倒流木発生抑制効果を検証するため、調査を継続して実施しています。</p> <p>3 事業のPRについて、各庁舎のホールにおいて、事業の取組内容をより多くの県民の皆様にご覧いただき、事業の必要性への理解を深めるため、現場状況等の展示を実施しています。</p>

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量	実施箇所数(箇所)	

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。
-------	---------------

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート②-イ

担当部課名	農林水産部治山林道課		
作成年月日	当初	令和 3 年 8 月 1 日	
	中間	令和 3 年 12 月 31 日	
	実績	令和 年 月 日	

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	災害に強い森林づくり推進事業					
細事業名	土砂・流木緊急除去事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	59,997,000	60,007,000	60,007,000		
	決算額(円)	57,835,503	54,288,126			
事業の目的	荒廃した渓流内や治山施設に異常に堆積した土砂や流木が、集中豪雨等により流出し、下流の人家等に被害を与える恐れのない安心・安全な森林づくりを推進することで、県民の生命・財産を守ります。					
事業の目標	実施箇所数 4箇所					
事業概要	渓流内や治山施設に異常に堆積した土砂や流木について、搬出・除去を行います。 (1) 渓流内や治山施設等に異常に堆積した土砂や流木等の搬出・処理 (2) 必要に応じて流木止めなどの簡易施設の設置					

## 【中間進捗】

中間進捗状況	
1 実施箇所について、令和3年12月末現在で4箇所のうち1箇所が完成しました。残り3箇所も完成に向けて整備を進めています。 2 事業のPRについて、各庁舎のホールにおいて、事業の取組内容をより多くの県民の皆様にご覧いただき、事業の必要性への理解を深めるため、現場状況等の展示を実施しています。	

## 【実施結果】

区分		実績	備考
事業費(千円)			
事業量	実施箇所数(箇所)		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート③

担当部課名	農林水産部森林・林業経営課				
作成年月日	当初	令和	3年	8月	1日
	中間	令和	3年	12月	31日
	実績	令和	年	月	日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名	森林情報基盤整備事業				
細事業名	-				
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり				
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	予算額(円)	77,757,000	90,243,000	84,000,000	
	決算額(円)	74,063,270	68,623,000		
事業の目的	航空レーザ測量により得られる森林資源情報を用いて、効率的な森林管理を促進するとともに、災害発生の危険性の高い地域等を客観的に把握し、災害に強い森林づくりを効果的に進めます。 また、得られた森林資源情報を市町と共有することで、市町による森林の適正な管理を促進します。				
事業の目標	1,200km <sup>2</sup> (12万ha)：令和5年度 (三重の森林づくり基本計画：次世代型森林情報活用プロジェクト)				
事業概要	航空レーザ計測の実施によるデータ取得と森林資源解析により、早急に整備が必要な森林の抽出等を行います。また、三重県HP等を活用して情報発信を行います。 ・航空レーザ計測(レーザ照射点密度4点/m <sup>2</sup> ) 約640km <sup>2</sup> (6万4千ha) (三次元計測データ、グリッドデータ、写真地図データ、等高線データ等を作成) ・森林資源解析 約440km <sup>2</sup> (4万4千ha) (林相区分データ作成、単木解析、林分解析(平均胸高直径、平均樹高、平均形状比、立木本数密度、収量比数等)データ作成) ・成果品：森林GISの主題図として、傾斜区分図、立体地形表現図、森林資源解析図を作成				

## 【中間進捗】

中間進捗状況
大紀町、南伊勢町、松阪市を新規計測箇所として選定し、約440km <sup>2</sup> (4万4千ha)の航空レーザ測量及び森林資源解析を実施しています。令和3年10月にレーザ計測作業を完了しており、引き続き、取得データの解析作業を実施しています。 また、入札差金を活用し、紀北町地内の約200km <sup>2</sup> (2万ha)で航空レーザ測量と森林資源解析の一部を先行実施※しています。令和3年12月にレーザ計測作業を完了しており、引き続き、取得データの解析作業を実施しています。 ※令和3年度に実施しなかった森林資源解析は令和4年度に実施予定です。

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。
-------	---------------

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート④ーア

担当部課名	林業研究所							
作成年月日	当初	令和	3	年	8	月	1	日
	中間	令和	3	年	12	月	31	日
	実績	令和		年		月		日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規	継続	事業開始年度	令和元年度
事業名	森を育む人づくりサポート体制整備事業					
細事業名	森林教育体制整備事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	3. 森を育む人づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	5,974,000	9,830,000	27,989,000		
	決算額(円)	4,836,482	6,093,666			
事業の目的	「森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりへ向けた教育」、「森林に関わる活動やビジネスを志すきっかけとなる教育」、「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」に取り組むことで、「みえ森林教育ビジョン」を実現し、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。					
事業の目標	講座・イベント参加者及びステーション利用者数：300人（令和3年度）					
事業概要	従来より取り組んできた、森林教育イベントに加え、新たにみえ森林教育ビジョンを実現するため、小学校向け森林教育プログラムの作成や、大人向け森林教育プログラムの開発支援、子どもたちの健全な心身の育成と森林・林業に関する職業意識の醸成を図るため、子どもたちが仲間と共に主体的に学ぶプログラムを実践するための自然環境キャンプの指導者養成等を行います。 また、県民のみなさんへみえ森林教育を広く普及するため、木製遊具や玩具に触れ合える常設型の森林教育施設（みえ森林教育ステーション）の認定を行います。					

## 【中間進捗】

中間進捗状況
令和3年11月20日に三重県民の森において「森に集まれ！みえ森フェスタ2021」の開催に際し、森林教育に関する体験イベントを行いました。
新型コロナウイルス感染症の影響により各種講座等の実施が難しい状況ですが、機会を捉えて実施するとともに、講座運営に必要な準備を進めています。
各地域（熊野市、御浜町、津市、南伊勢町、名張市）の6箇所において、みえ森林教育ステーション認定の準備を進めています。

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量(実施回数・日数)		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート④-イ

担当部課名	林業研究所							
作成年月日	当初	令和	3	年	8	月	1	日
	中間	令和	3	年	12	月	31	日
	実績	令和		年		月		日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	森を育む人づくりサポート体制整備事業					
細事業名	みえ森づくりサポートセンター運営事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	3. 森を育む人づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	28,532,000	27,973,000	28,689,000		
	決算額(円)	28,261,746	27,902,856			
事業の目的	森林教育や森づくり活動に携わる人材の育成を図るとともに、これらの活動に地域や学校等で取り組みやすい体制を整えることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。					
事業の目標	地域に密着した森林教育指導者数 200人(令和5年度末までの5ヵ年)					
事業概要	学校や地域で実施される森林教育や森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、森林教育や森づくり活動に対する、広域的・総合的なサポートを行います。 本センターでは、県内各地で活躍する指導者の養成を行うとともに、指導者の活躍の場として県内各地で木工教室や自然観察会等の実施、小中学校等における森林教育の出前授業を行うことにより、幅広く県民が木や森林にふれ学ぶ機会を創出します。					

## 【中間進捗】

中間進捗状況	みえ森づくりサポートセンターを運営し、森林教育や森づくり活動に対するサポートを行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、講座等の延期、中止を含め感染対策に取り組みながら、森林教育指導者の養成講座を計10回実施したほか、森のせんせいの活動の場となる森の学校を6回、出前授業を12回実施しました。また、森林や木に触れる機会の創出のため、第8回みえの森フォトコンテストやこども森の写真教室、ミエトイ・キャラバンを開催しました。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量(実施回数)		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。
-------	--------------

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート④-ウ

担当部課名	林業研究所				
作成年月日	当初	令和	3年	8月	1日
	中間	令和	3年	12月	31日
	実績	令和	年	月	日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規	継続	事業開始年度	令和元年度
事業名	森を育む人づくりサポート体制整備事業					
細事業名	森林教育施設整備事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	15,313,000	48,334,000	28,230,000		
	決算額(円)	7,620,083	47,130,396			
事業の目的	多くの県民がいつでも森林教育が体験できる活動フィールドや木製遊具などが常設された施設を整備することで、森と県民との関係を深め、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。					
事業の目標	三重県民の森における「みえ森林教育ステーション」の開設(令和3年度)					
事業概要	三重県民の森に森林教育実践フィールドや常設型の木製遊具や玩具に触れ合える森林教育施設を整備します。 また、これら施設を森林教育指導者の活躍の場として活用するなど、ソフト面でも充実を図ります。					

## 【中間進捗】

中間進捗状況	<p>令和3年11月20日に三重県民の森に「森林教育ステーション」をオープンし、当日、オープニングセレモニーを行いました。 現在は、感染症対策に取り組みながら、ステーション運営を業務委託により行っており、定期的な森林教育イベントや資材等の整備を進めています。</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑤

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	3年	8月	1日
	中間	令和	3年	12月	31日
	実績	令和	年	月	日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名	野生生物保護事業				
細事業名	生物多様性推進事業				
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり				
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	予算額(円)	4,024,000	3,996,000	4,278,000	
	決算額(円)	3,078,134	3,305,812		
事業の目的	活動団体や県民・事業者・行政などが連携して取り組む生物多様性の重要性に関する普及啓発や自然環境保全活動を推進し、県民みんなで森林生態系等の生物多様性の保全が図られる体制づくりを行うことで、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性の保全を図ります。				
事業の目標	野生生物の生息状況把握及び自然環境保全活動の促進 野生生物の生息状況調査 168件 希少野生動植物種ゾーニングマップ作成 1件 自然環境保全活動の支援 5活動				
事業概要	生物多様性の推進に必要な基礎的な情報の収集を行うとともに、自然環境保全上重要な地域を明確化し、広く県民や事業者等へ情報を提供することで、生物多様性の重要性に関する普及啓発に取り組みます。 また、自然環境保全団体や専門家と協力して生物多様性の保全を推進します。 ・野生生物生息状況調査の実施 ・希少野生動植物種ゾーニングマップの作成 ・合同調査や専門家の派遣などによる、自然環境保全活動の支援				

## 【中間進捗】

中間進捗状況	業務委託により野生生物生息状況調査および希少野生動植物種ゾーニングマップの作成を進めています。 また、生物多様性保全活動の支援については、目標となる5つの活動に対して支援を行いました。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。
-------	---------------

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑥

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	3年	8月	1日
	中間	令和	3年	12月	31日
	実績	令和	年	月	日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度	
事業名	自然公園利用促進事業					
細事業名	森林とふれあう自然公園環境整備事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	15,350,000	13,256,000	10,000,000		
	決算額(円)	7,726,270	6,203,810			
事業の目的	地域の活動団体や市町等と連携し、自然公園や森林公園を活用した森林教育のイベントやガイドツアーなどの推進と、自然公園や森林公園にある歩道等の施設整備を行うことにより、県民が森林や緑と親しむ機会を創出し、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深めます。					
事業の目標	地域との連携による自然公園施設等を活用した森林教育の活動 (目的達成のための目標：森林教育イベントやガイドツアー等の開催10回)					
事業概要	地域のNPOや団体、市町等と連携し自然公園の園地や自然歩道等を活用して実施する森林教育のイベントやガイドツアー等を行う。 また、そのフィールドとなる自然公園の園地や自然歩道等において、活用されている施設の安全確認を行い、安全・安心に利用できるようにサイン標識や説明看板の設置、歩道の階段や転落防止柵等の改修などを行う。					

## 【中間進捗】

中間進捗状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度より御在所岳の山頂において、自然環境の保全のために植樹イベントを実施(1回)</li> <li>・県内にある近畿自然歩道や園地及び森林公園施設で、自然観察ツアーや森林教育イベントを実施(6回)及び予定(4回)、</li> <li>・大杉谷登山歩道において、自然観察ツアーとボランティアによる施設整備及び環境保全活動を実施(2回)</li> </ul>	

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量(実施回数)		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	*実施報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	*実施報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	*実施報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	*実施報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑦-ア-a

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	3年	8月	1日
	中間	令和	3年	12月	31日
	実績	令和	年	月	日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)事業				
細事業名	流域防災機能強化対策事業				
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり				
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	予算額(円)	139,505,000	125,799,000	161,967,000	
	決算額(円)	134,218,600	133,303,784		
事業の目的	流域の防災機能を強化するため、面的な森林整備に県と市町が連携して取り組むことで、森林が有する土砂流出増防止等の公益的機能の高度発揮を図り、「災害に強い森林づくり」を推進します。				
事業の目標	山腹崩壊の発生源となる斜面上部の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれのある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図ります。 事業実施箇所：13市町 421.29ha				
事業概要	<p>人家等の保全対象から概ね2km以内の溪流沿いの森林であって、適正な管理がされておらず、流木や土砂の流出により下流に被害を及ぼす恐れがあり、以下のいずれかに該当する森林を対象に、市町が、森林所有者と当該森林の管理及び施業方法等について定めた協定を締結したうえで、間伐等の森林整備を実施します。</p> <p>(1) 間伐等(災害緩衝林一体型) みえ森と緑の県民税を活用して県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備することで、防災機能をより強化することができる森林</p> <p>(2) 間伐等(環境林・特定水源地域) 県ゾーニングが環境林、または三重県水源地域の保全に関する条例に規定する特定水源地域として指定されている森林</p>				

## 【中間進捗】

中間進捗状況	
13市町において、402.47haの森林整備を見込んでおり、そのうち、283.31haが着手済みとなっています。	

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量	実施箇所(市町)	
	整備面積(ha)	

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	* 実施報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。

## 令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業

## 事業別評価シート⑦-ア- b

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	3年	8月	1日
	中間	令和	3年	12月	31日
	実績	令和	年	月	日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)事業				
細事業名	森林再生力強化対策事業				
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり				
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	予算額(円)	30,683,000	35,800,000	23,221,000	
	決算額(円)	24,207,508	14,595,075		
事業の目的	流域の防災機能を強化するため、獣害対策に県と市町が連携して取り組むことで、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図り、「災害に強い森林づくり」を推進します。				
事業の目標	森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行うICT等の新たな技術を用いた二ホンジカの捕獲等を支援し、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図ります。 事業実施箇所：8市町 31,017m（獣害防止施設整備）				
事業概要	<p>(1)獣害防止施設等整備 森林所有者等が、市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内で、健全な森林の造成・保全を目的として行う野生獣による森林被害の防止、野生獣の移動の制御等を図るための獣害防止施設等の整備に対して市町が支援します。</p> <p>(ア)植栽タイプ 伐採跡地等において、植栽とあわせて行う獣害防止施設等の整備</p> <p>(イ)天然更新・更新補助タイプ (ア)の事業区域と隣接し、林業経営に適さないことから天然更新等を図る伐採跡地等において行う獣害防止施設等の整備</p> <p>(ウ)獣害防止施設等補修 豪雨等で破損した既設の獣害防止施設等の補修</p> <p>(2)二ホンジカの捕獲等 市町が、市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、二ホンジカの生息密度を適正な範囲に誘導していくため、獣害防止施設等の整備箇所周辺で、ICT等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施し、効果検証に取り組みます。</p>				

## 【中間進捗】

中間進捗状況	
獣害防止施設等整備については、8市町において27,977mの実施を見込んでおり、そのうち12,477mの整備に対する支援が完了しています。	

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量	実施箇所数(m、箇所)	

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業  
事業別評価シート⑦ーイー a

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	3年	8月	1日
	中間	令和	3年	12月	31日
	実績	令和	年	月	日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和2年度
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業				
細事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり				
対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり				
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	予算額（円）	—	10,000,000	27,000,000	
	決算額（円）	—	8,923,086		
事業の目的	台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組むことで、県民の安全・安心な生活環境を守る森林づくりを推進します。				
事業の目標	市町とライフライン事業者及び県が連携して、倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組めます。 事業実施市町：11市町				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容 台風等の倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採に、電力会社等と連携して取り組む市町に対して支援します。</li> <li>・負担割合 ライフライン事業者1/2、市町1/4、県1/4</li> <li>・事業の対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 伐採調査：事業の対象となる箇所において、伐採施工前に実施する、施工範囲などの現地調査や、伐採対象木の所有者の確定及び承諾交渉。また、図面及び設計根拠資料の作成等。</li> <li>(2) 伐採施工：事業の対象となる箇所における、配電線などのライフラインを寸断する恐れのある樹木や枝葉の伐採や集積等。</li> </ul> </li> </ul>				

## 【中間進捗】

中間進捗状況	
10市町においてライフライン事業者、県、市町の三者協定を締結済みとなっており、約3,000本の危険木を伐採する見込みです。	

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		
事業量	実施市町数	
	伐採本数	

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	*実績報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑦ーウ

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	3年	8月	1日
	中間	令和	3年	12月	31日
	実績	令和	年	月	日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業					
細事業名	—					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり、2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5つの対策全て					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額（円）	381,000,000	356,151,000	355,399		
	決算額（円）	379,798,000	356,151,000			
事業の目的	森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、市町交付金を活用することで、地域の実情に応じて創意工夫して森林づくり等の施策を展開します。					
事業の目標	—					
事業概要	1市町当たり500万円の均等配分と、森林面積配分、人口配分の3つの配分方法を組み合わせた「基本枠交付金」と、森林面積が100ha未満または森林率が10%未満である市町からの申請に基づき、5年間の累計申請上限額1,000万円とする「加算枠交付金」を交付します。 この交付金を財源に市町は、事業実施の3原則を満たし、森林環境譲与税と目的・用途を区分したうえで、森林づくり等の施策を展開します。					

## 【中間進捗】

中間進捗状況
29市町141事業（内、13事業が完了、99事業が実施中、18事業が未着手、11事業が基金積立事業） 対策区分1：2町 2事業（内、0事業が完了、2事業が実施中、0事業が未着手） 対策区分2：25市町 49事業（内、5事業が完了、39事業が実施中、5事業が未着手） 対策区分3：20市町 32事業（内、7事業が完了、19事業が実施中、6事業が未着手） 対策区分4：17市町 26事業（内、1事業が完了、20事業が実施中、5事業が未着手） 対策区分5：13市町 21事業（内、0事業が完了、19事業が実施中、2事業が未着手）

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
効率性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
公益性	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する
情報発信度	実績報告後に記入する。	* 実績報告後に入力する

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入する。

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑧

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	3	年	8月1日
	中間	令和	3	年	12月31日
	実績	令和		年	月 日

## 【事業概要】

事業実施年度	令和3年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	みえ森と緑の県民税制度運営事業					
細事業名	—					
基本方針区分	—					
対策区分	—					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	19,362,000	10,000,000	10,000,000		
	決算額(円)	9,572,081	7,656,559			
事業の目的	「みえ森と緑の県民税」を活用した基金事業に対するみえ森と緑の県民税評価委員会による評価・提言結果の公表や、税事業の効果や必要性を県民の皆様幅広く広報することで、「みえ森と緑の県民税」の制度を円滑に運営します。					
事業の目標	みえ森と緑の県民税評価委員会の円滑な運営 令和3年度評価委員会開催回数：3回以上					
事業概要	みえ森と緑の県民税を活用した事業結果等について調査審議する「みえ森と緑の県民税評価委員会」を運営するほか、啓発動画の配信などにより、県民税の広報活動を行います。					

## 【中間進捗】

中間進捗状況	「みえ森と緑の県民税評価委員会」を開催し、8月19日に同委員会から令和2年度基金事業の実施後の評価について三重県知事あて答申をいただきました。 また、本県民税の必要性和使途を広報するため、8月に令和2年度事業成果発表会を開催し、当該税を活用した事業の成果を市町担当者と共有するとともに、令和2年度事業の成果報告書を作成し広く県内に配布しました。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量(実施回数)		

## 【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	実績報告後に記入する。	
効率性	実績報告後に記入する。	
公益性	実績報告後に記入する。	
情報発信度	実績報告後に記入する。	

## 【評価委員会による総合評価】

評価・提言	
-------	--